

会社情報 (2021年6月30日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	246億18百万円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	914人(連結3,670人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

役員

代表取締役会長	かねこ けんじ 金子 雄二	社外取締役	くどう かずなお 工藤 和直*
代表取締役社長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	のなみ けんぞう 野波 健蔵*
代表取締役副社長(上席執行役員)	たかぎ けいすけ 高木 圭介	常勤監査役	ほさか あきお 保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	つかもと ひでき 塚本 英樹	常勤監査役	わたぬき ゆういち 渡貫 雄一
常務取締役(上席執行役員)	まえじま ひろふみ 前島 裕史	社外監査役	しもじょう まさひろ 下條 正浩*
取締役	ファン ジンファ 黄 錦華	社外監査役	ながしま たかし 長嶋 隆*
社外取締役	ふるた かつひさ 古田 勝久*	社外監査役	おねたま まり 大滝 真理*
社外取締役	いなさき いちろう 稲崎 一郎*		

*東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

コーポレートサイト



IRサイト



株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111



Sodick Times

2021年12月期(第46期)中間報告書

2021年1月1日～2021年6月30日

Special
Feature

持続可能な社会の実現のために
ソディックのサステナビリティ



株式会社 ソディック

東証1部:6143



サステナブルな社会の実現に向けた
新たなニーズを的確に捉え、
未来のものづくりにおける価値を提供

代表取締役社長

古川 健一

市場での競争力を高め、事業規模拡大を目指すとともに、
事業を通じてサステナブルな社会に貢献

自動車産業の変革、IoT、AI技術の進化、5Gの普及、新興国におけるものづくりの高度化等、ソディックのお客様が担う最先端のものづくりは大きな転換期を迎え、持続可能な社会を実現するための社会問題に紐付いた高精度化、微細化や環境負荷の低減が求められています。さらにコロナ禍が一つの契機となり、サステナブルな社会の実現に向けたシフトが加速し、その観点からの設備投資需要は拡大していくと見ています。

Growth〜』は社会課題に柔軟に対応しながら、お客様のものづくりを支え、お客様とともに持続的な成長を目指すためのものです。既存事業の競争力を高め、成長を牽引する製品群を育成し、事業規模拡大を目指すとともに、引き続きものづくりを通してサステナブルな社会の実現にチャレンジしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

長期経営計画『Next Stage 2026 ~ Toward Further

経済正常化に伴い業績回復傾向

株主の皆様には日頃より格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年12月期第2四半期の売上高は345億4百万円、営業利益は27億14百万円、経常利益は37億84百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は26億48百万円と、前年同期比で増収増益となりました。新型コロナウイルスの感染拡大によって経済活動が抑制されている状況が続いている地域もありますが、ものづくりの高度化に対する旺盛な需要と、ワクチンの普及とともに当社グループの業績も回復傾向にあり、現在は経済の正常化を見据えて準備

を進めています。

このような事業環境を踏まえ、通期業績予想を売上高718億円、営業利益61億円に上方修正しております。

(単位:億円)

	2021年12月期			増減 (期初計画比)
	第2四半期 累計(実績)	通期業績予想		
		期初計画	修正計画	
売上高	345	654	718	+64
営業利益	27	41	61	+20
経常利益	37	41	70	+29
当期純利益	26	30	49	+19



持続可能な社会の実現のために

ソディックのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

当社は「創造」「実行」「苦勞・克服」の精神に基づき、世界中のものづくりの発展に取り組んでいます。事業活動を通じてサステナブルな社会づくりに貢献すべく、ESGを重視した経営に取り組むとともに、持続的な成長に向けた活動を推進してまいります。

	当社の取り組み	関連するSDGs
環境 E 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境マネジメントシステムの構築 ● 環境面からのサプライヤーの選定 ● 事業活動における環境負荷の低減 ● 大気への排出に対する取り組み Focus! ● 環境配慮型製品の開発 	    
社会 S 	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティの推進 ● 働きやすい職場環境 ● 労働安全衛生への取り組み ● 研修と教育 ● 地域コミュニティへの参画 Focus! ● 人権・コンプライアンスの遵守 ● 社会貢献 	      
ガバナンス G 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営監督機能の強化 ● 取締役会の実効性評価と結果の開示 ● 取締役・監査役のトレーニング ● 内部管理の充実 	 

ESGとは

環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の総称。企業の持続的な成長のためには、財務情報のみならず、非財務情報であるESGへの配慮が不可欠という考え方が世界中で注目されており、企業価値をはかる重要な要素となってきました。



Focus!

最近の取り組み事例をご紹介します。

E 地球環境にやさしいグリーンエネルギーの活用でCO₂排出量を削減

ソディック本社およびソディックエフ・ティ宮崎事業所では、太陽光発電システムを導入しています。さらなるCO₂の排出量削減を目指し、2021年2月に加賀事業所にも太陽光発電システムを導入しました。これにより、加賀事業所の電力使用量の約10%を賄うことが可能となり、年間約335トンのCO₂が削減されます。また電力消費量を「見える化」し、無駄な電力消費を抑え効率的なエネルギー利用に努めています。



加賀事業所に設置した太陽光発電システム

S 次世代のデジタル人材育成支援で地域に貢献

石川県加賀市に事業所を置く企業として、石川県のデジタルアーティスト発掘イベント「エキゾチック・フューチャー」で高校生向けワークショップに協賛。当社社員が審査員として参加しました。

今後も引き続き、地域・社会に根差した活動を積極的に続けていきます。



高校生プロジェクト発表会の様子

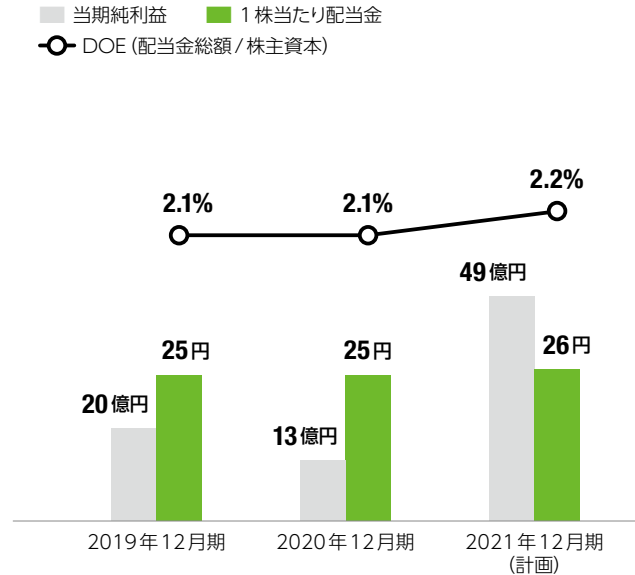
サステナビリティの詳細な取り組みは、当社ホームページをご覧ください。▶



株主還元


当社では、持続的な成長のための研究開発や設備投資に必要な内部留保を確保しつつ、事業特性からくる業績の変動を鑑み、安定的かつ継続的な配当を実施するため、DOE（株主資本配当率）2%以上を目標として考えております。

新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けた2020年12月期においても、一時的な業績の落ち込みに左右されることなく、安定的な配当を継続しました。また、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、設備投資需要の回復やワクチンの普及等による事業活動の正常化も見込まれることから、2021年12月期の中間配当は1株につき13円といたしました。期末配当は13円の予定で、年間配当は26円と前期比1円の増配を計画しています。



DOE (Dividend on equity ratio: 株主資本配当率) とは？

DOEは、株主資本に対して、企業がどの程度の配当を支払っているかを示す財務指標です。株主資本という元手に対して、企業が株主様に年間どれだけ配当金としての還元をしたかを見ることができます。

$$\text{DOE} = \frac{\text{年間配当総額}}{\text{株主資本}}$$


資本政策

■ 転換社債型新株予約権付社債の株式への転換

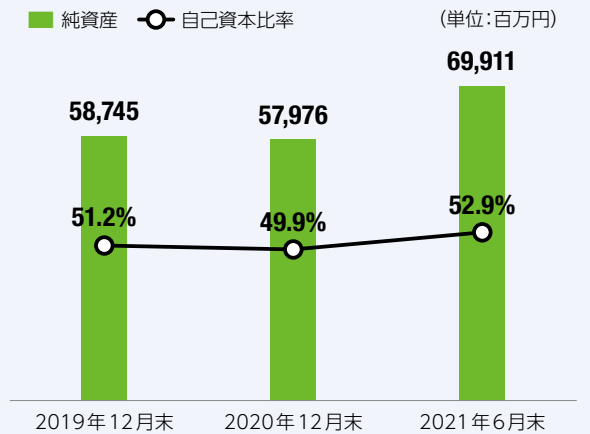
当社は2016年4月に次世代の研究開発資金を主な用途として、80億円の転換社債型新株予約権付社債（CB）を発行し、2021年4月に償還を迎え、76億86百万円が株式に転換されました。

今回のCB転換により、当社株式は14.4%増加し、財務体質がより強化されました。今まで以上に積極的な研究開発や設備投資、人的投資を行い、長期的な事業拡大を目指してまいります。

CB転換の効果

- 自己資本比率の上昇、財務体質の強化
- ネットキャッシュプラスへ転換
- 研究開発、設備・人材への積極的な投資により長期的な事業拡大

■ 純資産・自己資本比率



■ 転換社債の新株への転換行使結果 (2021年4月16日償還)

行使個数	7,686個
行使額面総額	76億86百万円(発行したCBの96.1%)
増加株式/株数	普通株式/7,447,629株

■ 自己株式の消却を実施

当社は株式価値の向上を目的とした機動的な資本政策として、自己株式の消却を実施しました。

消却株式数	2,000,000株
消却日	2021年2月26日

新製品

次世代の脱気機能付き 熱硬化性ゴム射出成形機 「GL-LSR」シリーズ販売開始

従来、固形ゴムは素材内に多くの空気を含み、粘度が高いため、成形時に金型に空気が入り込み、成形品不良が課題でした。

課題解決のため固形の熱硬化性ゴム材料に含まれる空気を除去しながら、金型へ直接供給する装置「脱気機能付きスタッファボックス」を新たに開発。成形時間短縮、成形品質向上、金型コスト低減などを実現できます。また、材料ロス削減や不良品減少により、環境負荷の低減にも貢献できます。

今後は、自動車、電子機器、航空宇宙関連のシール材、医療機器部品向けの需要を取り込んでまいります。

独自の新技术「脱気機能付き
スタッファボックス」を搭載



TV番組「知られざるガリバー」にソディックが取り上げられました

5月8日、テレビ東京の番組「知られざるガリバー～エクセレントカンパニーファイル～」で当社が紹介されました。

同番組は、世界に誇る優れた日本企業にスポットを当てその魅力を紹介するドキュメンタリー番組です。

番組では、企業理念やこれまでの成長の軌跡のほか、世界中のものづくりを支え続ける重要な使命、今後の展望など熱い思いをお伝えしました。また、製品品質を支える職人技や機械の性能向上に向けた研究開発力など、お客様の課題解決に向けた当社の取り組みについてご紹介しています。



こちらからオンデマンド放送をご覧ください ▶



需要増加に伴い生産体制を強化 中国・廈門に新工場を建設中

当社連結子会社の沙迪克（廈門）有限公司（廈門工場）において、産業機械事業および食品機械事業の世界的な市場競争力をさらに高めるため、新工場の建設を開始いたしました。

産業機械事業では、中華圏での5G・EV等をはじめとするものづくりの高精度化・高精密化の進展により射出成形機の需要が高まってきています。また、食品機械事業においても、海外向けの製麺機や米飯製造装置など食品機械の需要が拡大して

おり生産能力の増強が事業拡大に不可欠な状況です。

新工場の生産品目としては、産業機械事業の電動射出成形機のエントリーモデルを月産100台以上生産するほか、食品機械事業の製麺機・米飯製造装置用の茹で窯や反転窯など大型製缶製品を生産する計画で、以後、順次生産品目、数量を拡大していきます。

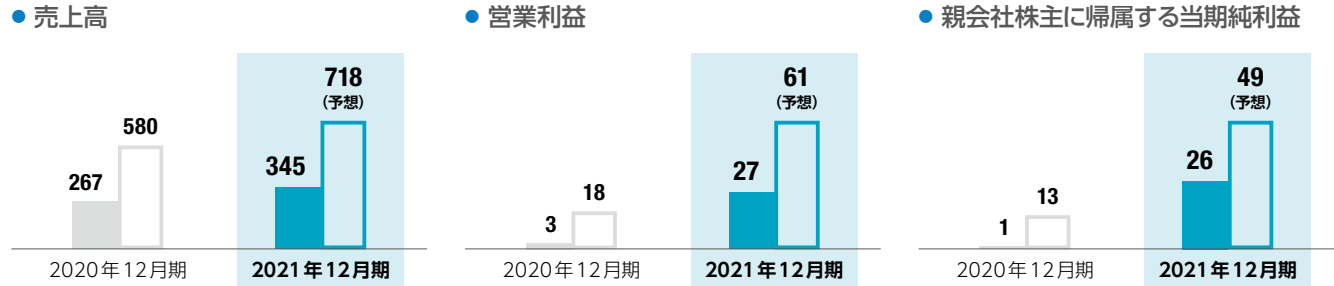


廈門工場
新工場概要

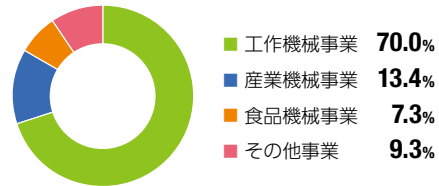
敷地面積 13,753㎡
建物面積 12,149㎡
建設費用 約14億円

生産品目 射出成形機、食品機械
建設計画 着工2021年6月
竣工2022年6月(予定)

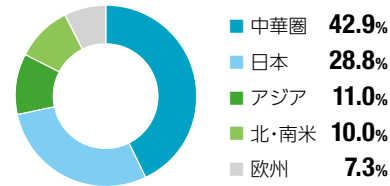
連結損益計算書の概要 (単位:億円)



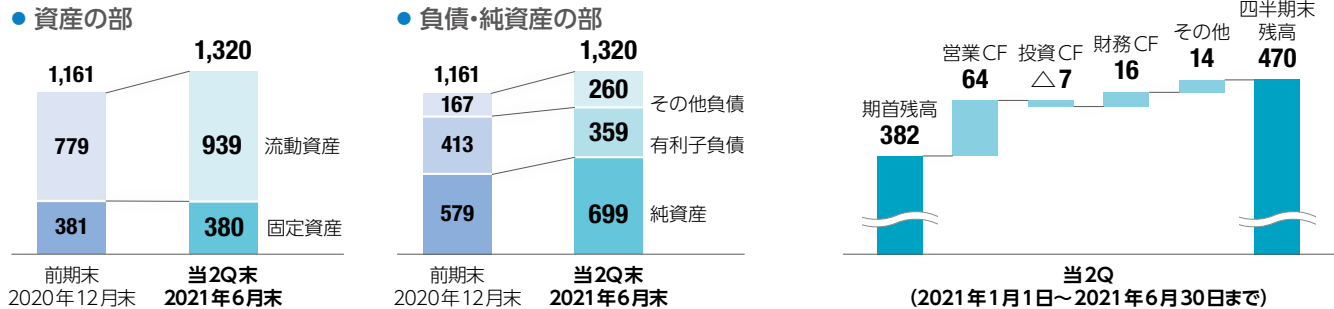
セグメント別売上高構成比 (2021年12月期第2四半期累計)



地域別売上高構成比 (2021年12月期第2四半期累計)



連結貸借対照表の概要 / 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:億円)



IRサイトでさらに詳しく IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報がご覧になれます
https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html



株式情報

発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式総数 58,792,239株
 株主数 11,809名

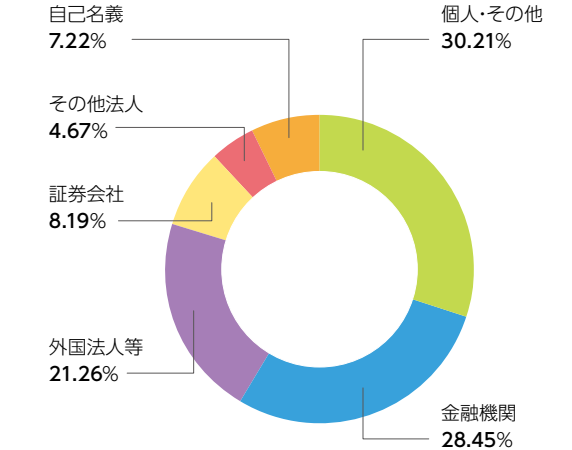
大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,193,700	8.83
株式会社ソディック	4,245,748	7.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,752,800	6.38
クレディ・スイス証券株式会社	3,426,354	5.83
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	2,119,100	3.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	1,119,500	1.90
ソディック共栄持株会	927,500	1.58
有限会社ティ・エフ	895,000	1.52
株式会社三井住友銀行	850,000	1.45
古川 宏子	800,000	1.36

株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日
 株主確定日 ● 定時株主総会、期末配当金:12月31日
 ● 中間配当金:6月30日
 定時株主総会 毎年3月
 公告の方法 電子公告により行う
 (公告掲載URL) <https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html>
 ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

所有者別株式分布状況



株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1
 新東京郵便局私書箱29号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部
 証券コード:6143